

リモートコマンダー

取扱説明書

RM-30BP

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

1章 準備	
使用前の準備	3

2章 各部名称	
各部の名称と働き	4

3章 基本操作	
各種調節と設定	7

4章 カムコーダーとの接続	
複数のカムコーダーに接続する	9
デイジーチェーン接続する	10

5章 その他の操作	
HOLDの個別設定について	11

6章 付録	
主な仕様	12

使用前の準備

本機は、ビデオエンジニアの画作り用の使用を目的としたリモートコマンダーです。

接続ケーブル (付属) でREMOTE端子 (Φ 2.5 3極ジャック) 搭載のカムコーダーに接続できます。

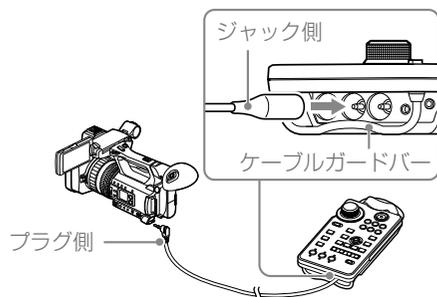
【ご注意】

- 上記の端子以外には接続しないでください。
- 本機は、防じん、防滴、防水仕様ではありません。本機の中に水等の液体やほこりが入らないようにしてください。

本機をカムコーダーと接続する

本機とカムコーダーを、接続ケーブル (付属) で接続します。

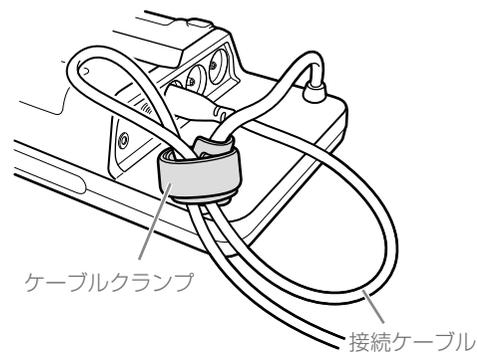
- 1 本機を安定した場所に設置し、カムコーダーの電源がOFFになっていることを確認する。
- 2 接続ケーブル (付属) のジャック側を本機上面のCAMERA1 ~ CAMERA3いずれかの端子に接続する。
- 3 接続ケーブル (付属) のプラグ側をカムコーダーに接続する。



【ご注意】

- 接続ケーブル (付属) のジャック側は、ケーブルガードバー内に通して接続してください。
- 接続ケーブル (付属) のジャックは確実に奥まで押し込んでください。
- カムコーダーまでの距離がある場合は接続ケーブル (付属) (10 m) を使用してください。
- 接続ケーブル (付属) 以外のケーブルで接続しないでください。また1 mと10 mの接続ケーブル (付属) をつなげて接続しないでください。
- 接続ケーブル (付属) を接続したとき、カムコーダーによっては一瞬電源が入ることがあります。
- 必要に応じて、付属のケーブルクランプなどを使ってケーブルをリモコンに固定・結束してください。

例



カムコーダーを撮影状態にする

詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

カムコーダーの電源をONにし、自動調節での撮影状態*を解除する

カムコーダーが接続されている端子番号のSTATUS LEDおよびREC LEDが赤色で点灯し、その後STATUS LEDが緑色で点灯します。

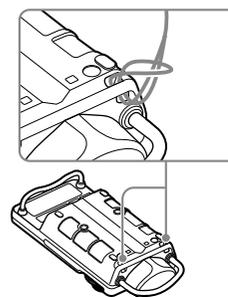
- * カムコーダーの自動調節での撮影状態の設定/解除は、カムコーダーによって操作するスイッチが異なります (FULL AUTOスイッチ、AUTO/MANUALスイッチなど)。
- カムコーダーの自動調節での撮影状態を解除し、それぞれの機能が手動調節できる状態になっていることをご確認ください。カムコーダーが自動調節で撮影状態になっているときは、STATUS LEDが緑色でゆっくり点滅します。

市販品の取り付け

ストラップを取り付ける

本機の背面にはストラップの取り付け穴が2つあります。

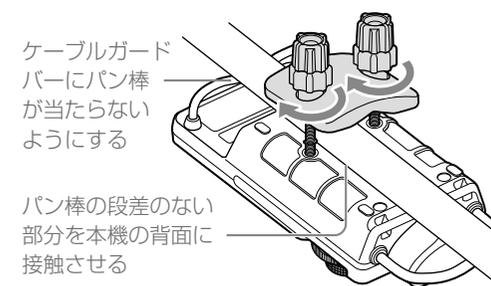
必要に応じてご利用ください。



パン棒への取り付けについて

付属の固定用プレートを使用して、本機を市販の三脚のパン棒などに取り付けることができます。

本機をパン棒に取り付けるときは、パン棒の段差のない部分が本機の背面に接触するように取り付けてください。



【ご注意】

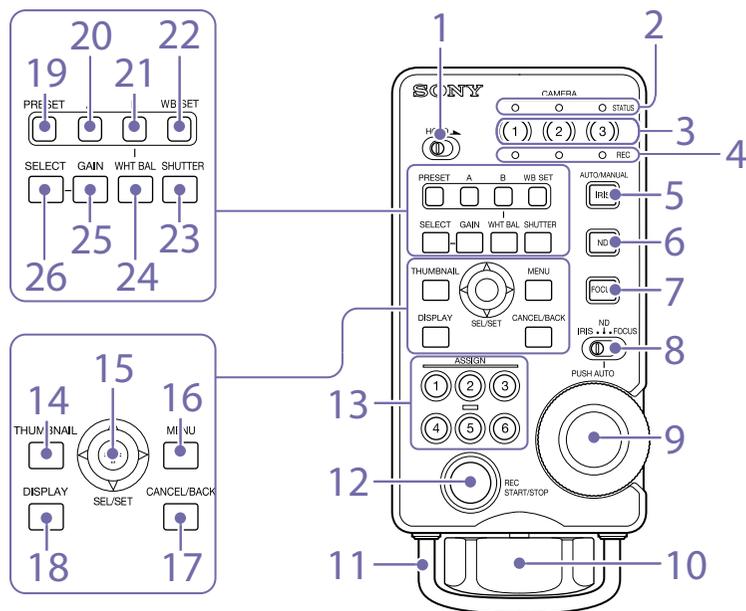
- 本機背面のねじ穴に市販のネジを取り付ける場合は、長さ8 mm以下のM5ネジを使用してください。
- 固定用プレートを必要以上に強く締め付けしないでください。破損の原因になります。

各部の名称と働き

【ご注意】

本機は仕様上、同時に2つ以上の操作のリモートコントロールはできません。操作は1つずつ行ってください。

操作部



1. HOLDスイッチ

スイッチのスライド位置で、HOLDが設定／解除されます。(右側でON)

ON：HOLD が設定され、本機でカムコーダーを操作できなくなります。

OFF：HOLD が解除されます。

HOLD ON時に、使えるキーを設定できません。詳しくは「HOLDの個別設定について」(11ページ)をご覧ください。

2. STATUS LED

主に本機の状態を次のように表示します。

表示内容	説明
緑で点灯	本機がカムコーダーと正常に接続され、リモートコントロールの対象として選択されています。
緑でゆっくり点滅	カムコーダーが自動調節での撮影状態になっています。
緑で早い点滅	押された操作キーがHOLD状態になっています。
消灯	カムコーダーの電源が入っていないか、接続されていません。または、カムコーダーが選択されていません。

3. カメラセレクトキー

CAMERA1～CAMERA3の端子に接続されているカムコーダーをリモートコントロールの対象にするかどうかを選択します。複数のカムコーダーを選択できます。

【ご注意】

マルチカメラライブプロデューサー MCX-500と本機を接続し、MCX-500の操作によりカムコーダーをリモートコントロールする場合は、本機のリモートコントロールの対象として選択していない状態(該当するSTATUS LEDが消灯状態)のカムコーダーもリモートコントロールされます。

4. REC LED

主にカムコーダーの録画状態を次のように表示します。

表示内容	説明
赤色で点灯	カムコーダーが録画状態です。
赤色で点滅	カムコーダーの電池の残量や記録メディアの残量が少なくなっています。
緑色で点滅	REC START/STOPキーを押してから録画が正常に開始されるまでの準備状態です。
消灯	録画を停止しています。

【ご注意】

お使いのカムコーダーによっては、赤色の点滅や緑色の点滅をしないことがあります。

5. IRISキー

押すたびにアイリスの自動調節を設定／解除します。

6. NDキー

接続したカムコーダーに電子式可変NDフィルターの自動調節機能がある場合は、押すたびに自動調節を設定／解除します。

7. FOCUSキー

押すたびにフォーカスの自動調節を設定／解除します。

8. 3ポジションスライドスイッチ

調整つまみの機能を、IRIS、FOCUS、ND(またはアサインブルダイヤル)のいずれかに切り換えます。

9. 調整つまみ

3ポジションスライドスイッチの位置に応じて、アイリス、フォーカス、NDフィルターのいずれかを調節できます。

また、DIPスイッチ(6ページ)のNo.7がONのときは、3ポジションスライドスイッチをNDの位置にすると、NDフィルターの代わりにカムコーダーのアサインブルダイヤルに割り当てられている機能を調節できます。

【ご注意】

お使いのカムコーダーがアサインブルダイヤルや電子式可変NDフィルターの機能に対応していない場合は、これらの機能を使用できません。

10. ZOOMレバー

左右に回して、ズームを調節します。

11. ズームガードバー

ズームレバーを保護します。ズームレバー操作時のガイドとしてお使いいただけます。

12. REC START/STOPキー

押すと録画が開始されます。

録画を停止するには、もう一度REC START/STOPボタンを押します。

13. ASSIGNキー

押すとカムコーダーのASSIGNキーに設定された機能が呼び出されます。

- ◆ 設定方法について、詳しくはカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

14. THUMBNAILキー

押すとサムネイル画面が表示されます。

もう一度押すとサムネイル画面が消えます。

15. SEL/SETレバー

上下左右に動かし、メニュー画面やその他の設定変更画面で選択項目の移動や数値を変更できます。

レバーを中央の位置で押し込むと、そのとき選択している項目が確定、実行されます。

- お使いのカムコーダーによっては左右動作は使用しません。

- ◆ 詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

16. MENUキー

押すとメニュー画面が表示されます。

もう一度押すとメニュー画面が消えます。

17. CANCEL/BACKキー

押すと1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

18. DISPLAYキー

押すたびに、画面上のOSD(ON SCREEN DISPLAY)の表示が切り換わります。

19. PRESETキー

押すとPRESETを呼び出します。

- ◆ 設定の変更や切り換えについて、詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

20. Aキー

押すとWB SET A(メモリー A)に記憶された数値が呼び出されます。

21. Bキー

押すとWB SET B(メモリー B)に記憶された数値が呼び出されます。

22. WB SETキー

ホワイトバランスがWB SET AまたはWB SET Bに設定されているとき、WB SETキーを押すと選んだWB SET AまたはWB SET Bの調整値が記憶されます。

- ◆ 設定方法について、詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

【ご注意】

お使いのカムコーダーのPRESET、A、B等のスイッチが、切り換え位置による設定表示があるスイッチまたはレバースイッチの場合、接続コードが抜かれたりカムコーダーの電源を入れ直したりすると、カムコーダーのスイッチの位置の設定に変更されます。

23. SHUTTERキー

押すと自動調節が解除され、シャッターまたはシャッタースピードの設定値が呼び出されます。SEL/SETレバーの上下動作でシャッターモードを変更できます。

- お使いのカムコーダーによってはシャッターの変更モードが呼び出されます。

24. WHT BALキー

押すとホワイトバランスが手動調節に設定され、カムコーダーでの設定が呼び出されます。もう一度押すと自動調節に戻ります。

- ◆ 設定方法について、詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

25. GAINキー

押すとカムコーダーで設定されたGAIN設定が呼び出されます。

26. SELECTキー

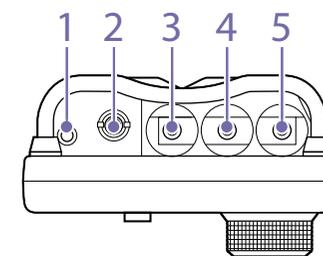
GAINキーで呼び出されたゲインのモードを変更できます。

- お使いのカムコーダーによってはSEL/SETレバーの上下動作でゲインを変更できます。

【ご注意】

お使いのカムコーダーのGAINスイッチが、切り換え位置による設定表示があるスイッチまたはレバースイッチの場合、接続コードが抜かれたりカムコーダーの電源を入れ直したりすると、カムコーダーのスイッチの位置の設定に変更されます。

接続端子部



1. REMOTE端子(Φ2.5ステレオミニジャック)
デジチェーン接続用の端子です。別のリモコンを接続し、CAMERA1に接続したカムコーダーを2台のリモコンからリモートコントロールします。

2. OPTION端子(Φ3.5ステレオミニジャック)
MCX-500と本機を接続するときに使用します。接続ケーブルは、MCX-500に付属されています。

3. CAMERA1端子(Φ2.5ステレオミニプラグ)

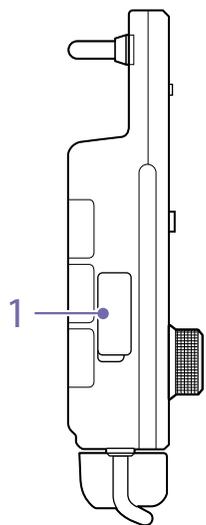
4. CAMERA2端子(Φ2.5ステレオミニプラグ)

5. CAMERA3端子(Φ2.5ステレオミニプラグ)
カムコーダーを接続します。

ご注意

接続ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、同梱のケーブルを使用してください。

左側面

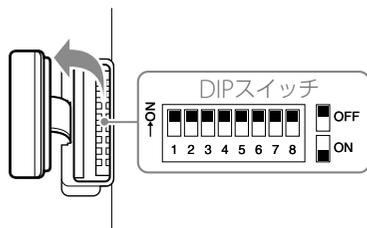


No.	機能	OFF	ON
1	ズームス	OFF(No.1)/OFF(No.2) : FAST	
2	ピードの切り換え	ON(No.1)/OFF(No.2) : MID	
		OFF(No.1)/ON(No.2) : MID	
		ON(No.1)/ON(No.2) : SLOW	
3	ズーム回転方向	Normal	Reverse
4	IRIS回転方向	Normal	Reverse
5	フォーカス回転方向	Normal	Reverse
6	ND回転方向	Normal	Reverse
7	ND / アサイナブルダイヤルの切り換え	ND	アサイナブルダイヤル
8	未使用	-	-

1. DIPスイッチ

ZOOMレバーと調整つまみの動作を設定できます。

左側面のDIPスイッチカバーを取り外すと、DIPスイッチが現れます。



各種調節と設定

フォーカスを調節する

FOCUSキー（4ページ）を押すたびにフォーカスの自動調節を設定／解除します。

調整つまみでフォーカスを調節する

3ポジションスライドスイッチ（4ページ）をFOCUSの位置にすると、調整つまみ（5ページ）を回転させてフォーカスを調節できます。調整つまみの真ん中をまっすぐ下に押し込むと、押し込んでいるあいだ自動でフォーカスを調節します（PUSH AUTO FOCUS）。PUSH AUTO FOCUS中に調整つまみから手を離すと、自動フォーカス調節が停止します。

【ご注意】

お使いのカムコーダーによって、調整つまみを回す量とスピードによるフォーカスの調節量は異なります。

調整つまみ (FOCUS) の回転方向を変更するには

「DIPスイッチ」（6ページ）のNo.5のON/OFFを切り換えると、調整つまみ (FOCUS) の回転方向を変更できます。

ON (Reverse)：時計回りに回すと遠くに、反時計回りに回すと近くにフォーカスが調節されます。

OFF (Normal)：時計回りに回すと近くに、反時計回りに回すと遠くにフォーカスが調節されます。

【ご注意】

お使いのカムコーダーがレンズ交換式でカムコーダーの付属品のレンズをお使いの場合、フォーカスリングを電子制御の状態にしてください。また、付属品以外のレンズをご使用の場合は本機でのフォーカス操作ができない場合があります。

電子式可変NDフィルターを調節する

接続したカムコーダーに電子式可変NDフィルターの自動調節機能がある場合は、NDキー（4ページ）を押すたびに自動調節を設定／解除します。

また、調整つまみ（5ページ）でNDフィルターの濃度を調節できます。

調整つまみで電子式可変NDフィルターを調節する

3ポジションスライドスイッチ（4ページ）をNDの位置にすると、調整つまみ（5ページ）を回転させてNDフィルターの濃度を調節できます。

【ご注意】

カムコーダーのNDフィルターを調節可能な状態に設定しておく必要があります（CLEAR以外の位置に設定する、VARIABLEモードにする、など）。設定方法について、詳しくはお使いのカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。

調整つまみ (ND) の回転方向を変更するには

「DIPスイッチ」（6ページ）のNo.6のON/OFFを切り換えると、調整つまみ (ND) の回転方向を変更できます。

ON (Reverse)：時計回りに回すとNDフィルター濃度が高くなり、反時計回りに回すと低くなります。

OFF (Normal)：時計回りに回すとNDフィルター濃度が低くなり、反時計回りに回すと高くなります。

アイリスを調節する

IRISキー（4ページ）を押すたびにアイリスの自動調節を設定／解除します。

調整つまみでアイリスを調節する

3ポジションスライドスイッチ（4ページ）をIRISの位置にすると、調整つまみ（5ページ）を回転させてアイリスを調節できます。調整つまみの真ん中をまっすぐ下に押し込むと、押し込んでいるあいだ自動でアイリスを調節します（PUSH AUTO IRIS）。PUSH AUTO IRIS中に調整つまみから手を離すと、自動アイリス調節が停止します。

【ご注意】

お使いのカムコーダーによって、調整つまみを回す量とスピードによるアイリスの調節量は異なります。

調整つまみ (IRIS) の回転方向を変更するには

「DIPスイッチ」（6ページ）のNo.4のON/OFFを切り換えると、調整つまみ (IRIS) の回転方向を変更できます。

ON (Reverse)：時計回りに回すと絞りを閉じ、反時計回りに回すと絞りを開きます。

OFF (Normal)：時計回りに回すと絞りを開き、反時計回りに回すと絞りを閉じます。

【ご注意】

お使いのカムコーダーがレンズ交換式の場合、レンズのIRISスイッチを「自動調節」(AUTO)にしてください。

ズームを調節する

ZOOMレバー（5ページ）を左右に回して、ズームを調節します。

お使いのカムコーダーにZOOMスイッチがある場合は、[SERVO] や [REMOTE] 等の状態にしてください。

ZOOMレバーの回転方向を変更するには

「DIPスイッチ」（6ページ）のNo.3のON/OFFを切り換えると、ZOOMレバーの回転方向を変更できます。

ON (Reverse)：右側にZOOMレバーを回すと広角（被写体が小さく写る）、左側に回すと望遠（被写体が大きく写る）になります。
OFF (Normal)：右側にZOOMレバーを回すと望遠（被写体が大きく写る）、左側に回すと広角（被写体が小さく写る）になります。

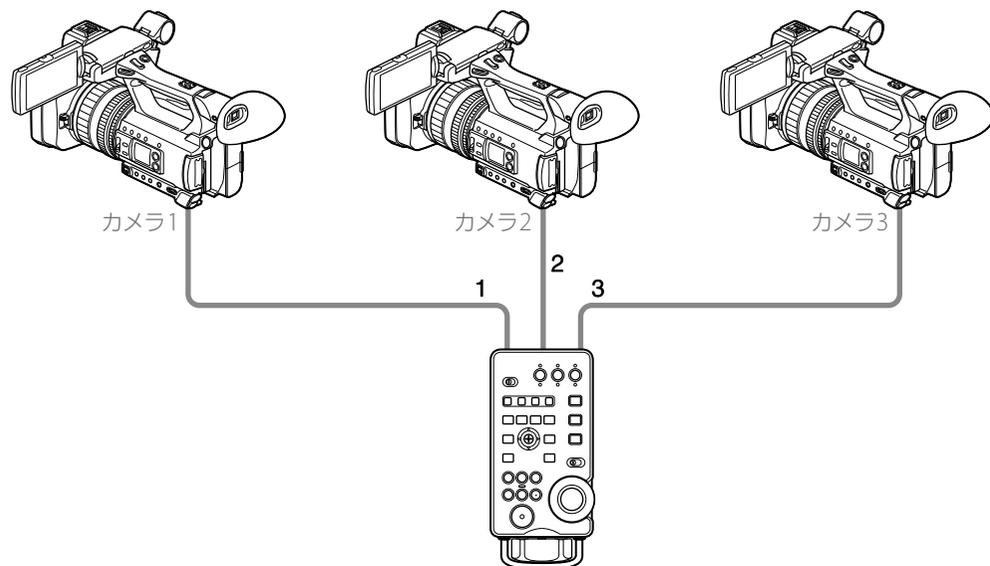
ズームスピードを変更するには

「DIPスイッチ」(6ページ)のNo.1とNo.2のON/OFFの組み合わせで、ZOOMレバーを回したときのズームスピードの変化量を変更できます。

No.1	No.2	ズーム スピード	説明
OFF	OFF	FAST	ZOOMレバーを回す量に応じて、より速くズームします(8段階)。
ON	OFF	MID	ZOOMレバーを回す量に応じて、速くズームします(4段階)。
OFF	ON	MID	
ON	ON	SLOW	ZOOMレバーを回す量に関係なく一番遅いスピードで一定にズームします。

複数のカムコーダーに接続する

本機に、3台のカムコーダーを同時に接続できます。



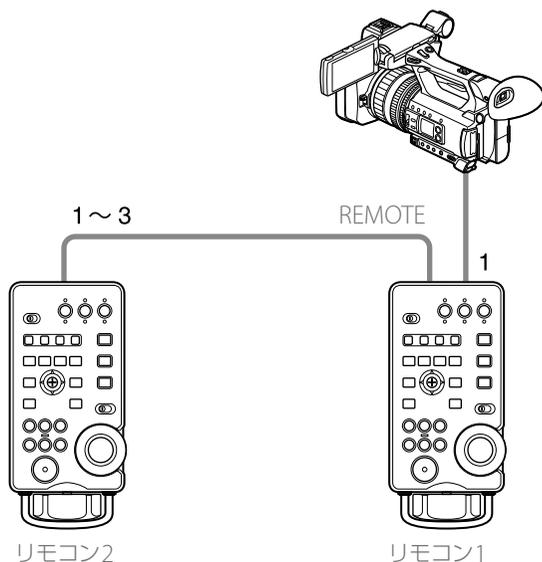
CAMERA1端子～CAMERA3端子(5ページ)にそれぞれカムコーダーを接続して、カメラセレクトキー(4ページ)で、本機でリモートコントロールするカムコーダーを選択します。複数のカムコーダーを選択して、同時にリモートコントロールすることもできます。

【ご注意】

- ケーブルの抜き差しは、カムコーダーの電源をOFFにして行ってください。
- 複数のカムコーダーを同時にリモートコントロールした場合、カムコーダーの状態が変化するまでの時間は同じではありません。例えば、REC START/STOPキーを押して同時に録画を開始した場合、実際の録画開始のタイミングは数フレームずれることがあります。
- 接続ケーブルの購入については、ソニー業務用商品相談窓口までお問い合わせください。
接続ケーブル(10 m) : 1-849-815-1x (別売)

デジチェーン接続する

カムコーダーに接続している本機のREMOTE端子(5ページ)に別のリモコンを接続して、2台のリモコンからカムコーダーをリモートコントロールできます。



- カムコーダーに接続するリモコン1は、CAMERA1端子(5ページ)でカムコーダーと接続します。
- リモコン1とリモコン2は、リモコン1のREMOTE端子とリモコン2のCAMERA1端子～CAMERA3端子のいずれかで接続します。

[ご注意]

- お使いのカムコーダーがデジチェーンの機能に対応していない場合は、この接続での使用はできません。各カムコーダーの対応リモコン機能については、ソニー業務用商品相談窓口までお問い合わせください。
- CAMERA2端子とCAMERA3端子とはデジチェーン接続できません。
- 2台のリモコンをデジチェーン接続できます。リモコン2のREMOTE端子には何も接続しないでください。
- ケーブルの抜き差しは、カムコーダーの電源をOFFにして行ってください。
- REMOTE端子には本機またはRM-1BP以外のリモコンを接続しないでください。
- リモコン1とリモコン2で同時に操作した場合、どちらかの操作が無視されます。
- リモコン1でリモートコントロール対象のカムコーダーを選択していない状態(CAMERA1 STATUS LEDが消灯状態)でも、リモコン2からリモートコントロールできます。

HOLDの個別設定について

HOLDスイッチをONにしたときの、HOLDされるキーと操作可能なキーを設定できます。工場出荷時（初期値）はすべての操作がHOLDされています。

HOLDの個別設定を可能な状態にする

- 1 HOLDスイッチ（4ページ）をONにする。
本機がHOLDモードになります。
- 2 DISPLAYキー（5ページ）を押しながら、SEL/SETレバー（5ページ）を2秒以上左へ倒す。
本機がHOLDキー編集可能なモードになります。
このとき、3ポジションスライドスイッチ（4ページ）の位置により、次の3つのモードを選択できます。

3ポジションスライドスイッチの位置	モード	機能	モード表示
	HOLDキー選択モード	このモードでキーを操作するたびに、そのキーのHOLD時使用可能／禁止が切り換わります。	CAMERA1 STATUS LED 赤点灯
	HOLDキー確認／登録モード	このモードでキーを操作すると、そのキーのHOLD時使用可能／禁止がREC LEDに表示されます。 また、SEL/SETレバーを2秒以上押しすと、HOLDキー選択モードの設定が登録されます。	CAMERA2 STATUS LED 赤点灯
	HOLDキー初期化モード	このモードでSEL/SETレバーを2秒以上押しすと、HOLDされるキーの設定が初期値に戻ります。	CAMERA3 STATUS LED 赤点灯

HOLDされるキーを個別設定する

- 1 3ポジションスライドスイッチ（4ページ）をIRISにしてHOLDキー選択モードに入る。
- 2 個別設定したいキーを操作して、そのキーのHOLD時使用可能／禁止を設定する。
キーを操作しているあいだ、CAMERA1 REC LEDが点灯してそのキーの設定状態を表示します。
赤点灯：HOLD時使用禁止
緑点灯：HOLD時使用可能
- 3 個別設定したいキーの設定がすべて終わったら、3ポジションスライドスイッチをNDにしてHOLDキー確認／登録モードに入る。
- 4 各キーを押して、個別設定の状態を確認する。
キーを操作しているあいだ、CAMERA2 REC LEDが点灯してそのキーの設定状態を表示します。
赤点灯：HOLD時使用禁止
緑点灯：HOLD時使用可能
- 5 SEL/SETレバー（5ページ）を2秒以上押しして、HOLDキー選択モードの設定を登録する。
個別設定が本機に反映され、CAMERA2 REC LEDがオレンジ色に点灯し、通常のHOLD状態に戻ります。

【ご注意】

- 15秒以上キー操作がないと、通常のHOLD状態に戻ります。
- 個別設定は登録するまで反映されません。設定中にHOLD状態に戻った場合、それまでの設定も無効になります。

HOLDされるキーの個別設定を初期化する

- 1 3ポジションスライドスイッチ（4ページ）をFOCUSにしてHOLDキー初期化モードに入る。
- 2 SEL/SETレバー（5ページ）を2秒以上押し。
CAMERA3 REC LEDがオレンジ色に点灯し、HOLDされるキーの設定が初期値に戻ります。

主な仕様

項目	説明
外形寸法	約82.5 × 34 × 174.5 mm (幅/高さ/奥行) ※最大突起部 (ボタン、つまみ、ダイヤル、足) を除く
質量	約 290 g (本体のみ)
使用環境	温度：0℃～40℃ 湿度：80%以下
保存温度	-20℃～+60℃
同梱物	リモートコマンダー (1) 接続ケーブル (1 m) (1) 接続ケーブル (10 m) (1) 固定用プレート (1) CD-ROM (取扱説明書) 印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。